

## 2. 各エリアの特性

平成 27 年 3 月現在、各エリアの教育・保育を取り巻く環境には次のような特性があります。

### ① 東部エリア

- ・地下鉄大日駅周辺を中部エリアに編入されているが 3 エリアの中で、就学前子どもの人数が最も多い。(平成 26 年 5 月 1 日現在で東部:2,336 人、中部:2,014 人、南部:1,970 人)
- ・地下鉄大日駅周辺の特に 2 号認定子ども及び 3 号認定子どもは、東部エリアの教育・保育施設に通う可能性が高いと考えられる。(1 号認定子どもは、通園バスの利用が考えられるのでエリア外への通園も支障が少ないと考えられる。)
- ・大久保小学校におおくぼ幼稚園が、藤田小学校にとうだ幼稚園が、庭窪小学校ににわくぼ幼稚園が、それぞれ隣接して設置されている。
- ・京都守口線以北の幼稚園は市立のにわくぼ幼稚園のみであるが、4 歳児は 6 名となっている。
- ・市立保育所のうち比較的規模の大きい保育所が 2 園所在している。(定員:大久保保育所 150 人、藤田保育所 120 人)
- ・小規模保育事業を実施する施設が 2 か所のみである。
- ・大久保小学校・東小学校統合校の新校舎の供用開始を平成 30 年 4 月に予定。

### ② 中部エリア

- ・小規模保育事業を実施する施設が 5 か所ある。

### ③ 南部エリア

- ・平成 27 年 6 月に市立あおぞら保育所が、敷地内に定員 150 人で開設された。
- ・寺方保育所及び南保育所は平成 27 年 5 月末で閉園となる。
- ・小規模保育事業を実施する施設が 1 か所しかない。
- ・平成 27 年 4 月、市立樟風中学校が開校。
- ・平成 28 年 4 月、小中一貫校が開校予定。
- ・平成 30 年 4 月、寺方小・南小統合校が開校予定